

『沖大・緊急連続講演会』

—経済特区、基地跡地利用、国際都市構想に向けて—

(一般参加自由、入場無料)

第二回 「沖縄振興と情報通信」

—ゆうパックからマルチメディアまでの活用—

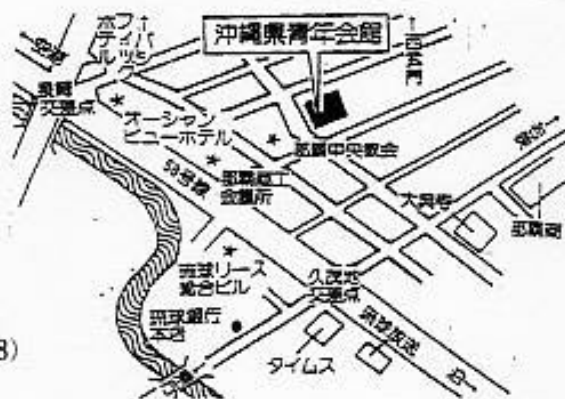
講師の稲村さんは東海郵便局時代「ふれあい直送便」のネーミングで、地元の銘菓に脚光を当て、また海の幸を活用したさざえの郵便局など特産品の発掘をして、同管内の「ゆうパック」を毎月前年比2桁増をはたしました。つとにアイデアと実行力、そして論客として有名です。「沖縄マルチメディア特区構想」の提案など新時代の沖縄での活躍が大いに期待されています。

講師 :

「稲村公望氏、沖縄郵政管理事務所長」

稲村さんは実はウチナンチュー（奄美・徳之島出身）と言ってもよいと思います。東京大学法学部卒、フレッチャー国際法外交大学院修士、在タイ日本大使館一等書記官、郵務局国際協力課長、東海郵便局次長等を歴任して現職。

- 日 時： 11月7日(木) 午後2時～4時
- 場 所： 沖縄青年会館・大ホール(2階)
(那覇市久米2-15-23 TEL:864-1780)
- 主 催： 沖 縄 大 学
(問い合わせ：吉川研究室、TEL:854-2958)



「沖大・緊急連続講演会」について

今、沖縄の緊急の課題は「経済特区、基地跡地利用、国際都市構想」でその方向性を早急に見つけ出す必要があります。本連続講演会は、その基礎になる議論を、今年度中に連続して4～5回集中的に開催する予定です。不確定部分もありますが、法政大学総長・清成忠男、インタープラン代表・長谷川芳郎、沖縄協会会長・小玉正任、麗沢大学教授・阿部統、富山大学講師・岡崎昌之の諸先生を講師に予定しています。